

学校経営の中で「自ら生きる司書」をめざして ～読書好きの子どもを育むための経営参画と実践～

大倉 千鶴子

はじめに

私は、西日本図書館学会への入会及び学校司書としての業務に携わり共に七年目になります。司書補の資格取得後、これまで業務を遂行するうえで「JUNTO CLUB」の会報は「私の教科書」でありました。今回、この会報への寄稿を依頼されましたときの私の心中をお察ししていただけましたら幸いに存じます。

さて、教職員でない立場にある私は、「学校＝教職員」という構図の中で、日々の業務にあたる心労と教職員のみなさんとのコミュニケーションを確立するために悩み続けております。現在、小学校1校、中学校2校、過5日の勤務をしています。このような現状の中、学校図書館運営に自ら参画していく努力の足りなさに気が付きました。

本稿では、自らが、学校経営への参画できる場面作りを探ると共に、教育実践に自らが意欲をもってあたることをめざしたいと考え、寄稿させていただきました。

I 学校経営方針の中で自らが参画できると考えられる場面設定とその方略(白丹小学校)(☆)

1 学校教育目標 (3項目の2) (下線部分は職員と置き換える)

(2) 豊かな感性と相手を思いやる心の充実に努める。

☆ 豊かな感性と読書の関連については周知のとおりなので詳細は述べません。図書室の空気を感じ、味わうための環境作りはどう迫るか取り組んでいます。

- ・ 掲示物に四季を感じられるように配慮する。
- ・ 衛生管理に努め、安心・安全な中での読書活動をねらう。
- ・ 読書から得た知識や思いを交換できるための場所作り、情報発信のための補助を行う。(総合学習、校内放送、委員会活動、図書通信等)

2 基本方針 (5項目の2, 4, 5)

(2) 校務分掌を生かした組織的・計画的な運営を行い、全教職員が個性と創意を發揮しながら教育目標の達成に努める。

☆ 週一回の小学校勤務日には、図書館担当の教諭と必ず情報交換のために話し合う場を持つようにし、自分自身の孤立化を防ぐ努力をしています。

☆ 毎週読み聞かせを計画的に行えるように、学期ごとにその日時と内容をプリントして担任へ時間の確保のお願いをしております。

☆ 教師の出張などから生じた空き時間を活用する読書指等、読み聞かせ指導を意欲的に実施します。

(4) 児童一人一人の良さや可能性を伸ばすとともに、自ら学ぶ意欲や思考力・判断力・表現力などの「生きる力」の育成に努める。

☆ 全校児童の読書傾向や個人から申告のあった書籍名を掲示で知らせるなど、少人数の利点をプライバシーに配慮しながら行っています。

☆ 「生きる力」を育成するために、必要な場で対応できる文化としての知恵作りを応援する、書籍の案内人を自ら行う努力をしています。また、双方の時間の許す限り声掛けにつとめ、表現力の向上をめざして話す場づくりに努めるようにしています。

(5) 教職員相互ならびに家庭・地域との連携を深め、内と外に開かれた学校作りに努める。

☆ 図書通信による情報公開に努めたり、授業公開日や諸行事には、図書館の利用までいかなくても、看板の設置を行い入室して見ようと思うような雰囲気作りを心掛けています。また、保護者への貸し出しが今より豊富になるように、いろいろな学校や公共図書館の実施方法を研究して参りたいと思います。

3 重点目標 (4項目の4)

(4) 全教育活動の中に体験活動や人とのふれあいの場を数多く取り入れ、豊かな感性と相手を思いやる心の教育の充実に努め、併せて児童の社会性を育てる。

☆ 地域の力を活用し、広義の図書館経営をめざしていききたいと情報収集に努力中です。その他は基本方針2～5に上げている内容と同じですので省略します。

4 めざす学校・教師・児童像 (各4項目)

・学校像＝子ども一人一人が大切にされる楽しい学校

地域に開き、共に成長する学校

☆ 一人一人の読書活動の発信などから、個性を生かす工夫をおこない、図書館に行きたい気持ちと来館者が楽しい雰囲気を味わえるように努力していきたいと考えています。

・教師像＝自己研鑽に努め、専門的知識と指導力を備えた教師

幅広い教養と豊かな人間性を備えた教師

☆ 司書として幅広い教養獲得のための研修を積んでいます。

☆ 短時間の読み聞かせから45分の授業として耐え得る内容の研修を行なっていくために、自らが教職員の研修に関心を持ちたいと思います。

・児童像＝相手の立場や気持ちに気を配ることのできる子ども

☆ 将来、公共の図書館利用ができるために、そのマナーをゆっくり、丁寧に身につくように育てていききたいと思います。

以上、1～4の経営方針や、図書館運営を進める上で関係が深いと思われる項目を抽出し、自らの経営の指針として取り組んでいます。

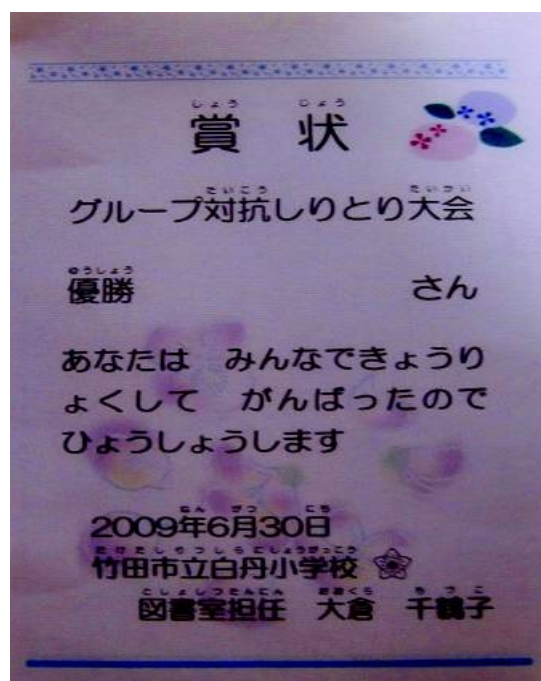
Ⅱ 教育目標達成への一助になればと考えた実践例の紹介

6月末日に、教育事務所の学校訪問が予定されていました。その日、1年生の担任が出張で自習になるということで、教頭先生から「読み聞かせの時間としてやって見ませんか」といわれました。是非お願いしますと簡単に返事をしたものの、参観授業への先生方の取り組みの準備を見ていて、事の重大さを初めて経験することになりました。

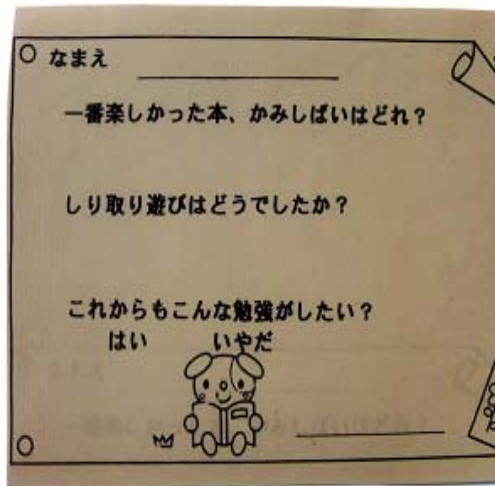
まず、当日の授業の目標等を初めて考えることから始まりました。教頭先生から「わからなかったらいつでも遠慮せんで言いなさいよね」と助言をいただいたり、同校の先生方から暖かい励ましをいただきながら、一日一日が過ぎていきました。何しろ週一回しか勤務しない学校でのこと、それからの二週間は、わずか一時間の授業時間を消化するのにこれだけのエネルギーを使わなければならないのかと、とにかく、無我夢中で焦るやら、冷や汗の連続で頑張りました。また、今勉強している大学の教育学部の資料を見たり、これまでの学校訪問の資料を探したり、先輩の先生方の助言をいただきながら、当日のプランから、準備物を考え、実施計画の作成に当たりました。一つ出来たら、電話や、ファクスで一方向的に質問したり、修正をお願いしたり司書の仕事はそこそこの毎日でした。

自分勝手に、これぞ「めざす職員像」だなどと決めつけてやっていた自分を振り返ると、恥ずかしくて、人には話せないことなのに「原稿依頼」にかこつけて当時を開示している次第です。

(当日使用した準備物)



(当日使用した手作り紙芝居ボックス等の準備物)



(資料) 当日の授業実施プラン

指導学年 一年生 8名 (男子2名 女子6名)
 指導場所 一年生教室
 指導者 大倉 千鶴子 (図書館司書補)

- 教材 特別活動 (学級活動)
 題材 読書 「食べ物のお話をお勉強しよう」
 目標 1 日常の食べ物について、紙芝居や絵本・大型絵本の活用からより興味・関心をわかせる。そして、科学的知識をも身につけさせる。
 2 読み聞かせやしり取りを通して、今、食べているかのような楽しさを実感させたり、食べ物への感謝の心を養う。
 学習活動 1 食に関する紙芝居『ごきげんの悪いコックさん』をみる (学習意欲の高揚)
 2 大型絵本『しり取りの大好きな王様』を鑑賞し、その関連・発展の活動として、みんなで「食べ物しり取り」ゲームをする。
 色々な食べ物についての絵本 (4つ) を鑑賞する。(食への意欲と感謝)
 3 食べ物に関する活動 (読み聞かせ、しり取り) について感じたことを話し合う。(分かち合い)

展開案

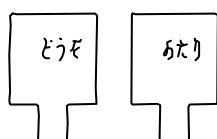
展開	学 習 活 動	時間	指導上の留意点	準備物等
導 入	1 本時の学習内容をきく 『ごきげんの悪いコック クさん』の紙芝居をみる	3 7	食べ物の大切さと感謝についてのお話 をします 食べ物への意欲を湧かせるように、興味 深く紙芝居を行う	本時の目標 プログラム 紙芝居 1
活 動 深 化	2 『しり取りの大好きな 王様』の大型絵本を見 聞かせる 「食べ物しり取り」を グループ対抗とする 食べ物に関係ある、話を 聞く ・ 『アリとスイカ』 ・ 『スイカです』 ・ 『リンゴです』 ・ 『ベーコン忘れちゃ ダメ』	6 10 10	大型絵本から次のしり取りへの活動に つながるように考える姿をこめて読み 聞かせる 2つのグループにわけ るルールを説明する 始まり言葉「バナナ」を提示する 最後までいったら、どちらも優勝と活動 をほめる 4つのお話をリズムカルに話す ・ 間延びしないよう心掛ける ・ 本を次々出せる工夫をする ・ 声の変化で興味の持続をはかる	大型絵本 しり取り言 葉の絵 ジャッジう ちわ 絵本
終 結	3 『森の暴れん坊クワガ タくん』の紙芝居を 鑑賞する 4 学習を振り返る 自分の意見を述べる	5 4	少しはやいが夏に向けて、この地域の自 然の偉大さと生息する昆虫への興味が わく気持ちになるように読み聞かせの 工夫をする 学習のまとめをする ・ 今日の学習で気づいたことを発表 させ、学習結果の評価をする ・ 全員の表彰をする。	紙芝居 2 評価表 表彰状

準備物・依頼事項の点検表

	内 容	木	金	土	日	月	火	当日	備考
1	しり取りの絵の依頼	0							
	絵への磁石張り付け		0						
2	ジャッジうちわの作成	・	0						
3	目標、プログラム用紙、磁石付			0					
4	題材張り付け用紙。磁石盤			0					
5	評価表作成、印刷		0						
6	紙芝居箱作製	0							
7	紙芝居読み聞かせ練習（鏡）	・	・	・	0	0			
8	大型絵本提示方法の練習（机の高さ）		0						
9	大型絵本読み聞かせ練習（鏡）	・	・	・	0				
10	絵本読み聞かせ練習（鏡） 繋ぎ練習	・	・	・	0				
11	入室から挨拶の練習	・	・	・	0				
12	表情練習（喜怒哀楽の表現）	・	・	・	0				
13	学習活動切り替えリズム、テンポ	・	・	・	0				
	発問の言葉発声練習	・	・	・	0				
14	しり取り優勝誉め言葉の準備、発声	・	・	・	0				
15	学習評価 誉め言葉の準備、発声	・	・	・	0				
16	授業VTR依頼	0							
17	当日身だしなみ準備（服他）			・	0				

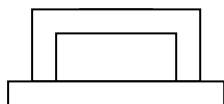
掲示物、道具・資料等の事前準備

- ◎ 目標は磁石盤、色用紙
- ◎ ジャッジうちわ
- 幅 1メートル前後に
- ◎ プログラム作成



既製のうちわをベース

- ◎ 紙芝居箱の作製 白木板・ボンドの購入



サイズ・38.6 26.3

ゆとりの工夫

- ◎ 評価表 サイズはB6

今日の読み聞かせ
プログラム予定

紙しばい

- 1 『ご機嫌の悪いコックさん』
- 2 『森の暴れん坊クワガタ君』

大型絵本

- 1 『しり取りの大好きな王様』

- ◎ 表彰状
(教頭先生へ依頼)

なまえ ()

一番楽しかった本、かみしばいはどれ？
()

しり取り遊びはどうでしたか？
()

これからもこんな勉強がしたい？
はい いやだ

がんばり賞

食べ物しり取り大会で
最後まで頑張り通しまし
たので、〇〇さんを表彰
します。

平成21年6月30日
図書室担当
〇〇 〇〇

- ◎ しり取り絵 バナ→なす→する→目玉焼き→炒い→任→
(教頭先生) もち→ちくわ
ワビ→びわ→無関係たべもの ケキ、チョコレート

注) 評価表、表彰状、プログラム、うちわ等形式や言葉は1年生用に工夫
注) 当日の授業細案は上記の実施案の準備・内容決定後考える。

時間	学習プログラム	経過時間	発問・言動 留意事項
3		11:20	今日は担任の先生が出張なので、図書館の先生が食べ物に関係のある、楽しいお話や、ゲームなど準備してきました。先生のお話を聞いて、皆さんがたべたくなったり、食べ物を大切にしようとか、ありがとうという気持ちになってくれたらうれしいなー それでは よろしくおねがいしまーす。
7	「紙芝居」 『ご機嫌の悪いコックさん』	11:23	最初のプログラムは 「大倉紙芝居劇場」でーす。楽しんでくださーい。 はじまり・はじまりー 注) 発声・表情
6	「大型絵本」 『しり取りの大好きな王様』	11:30	今度は、超大型絵本ですよ しり取り遊びはやったことありますか？ 我がままばかり言っていると、こんなことになりますぞ・・・
10	「しり取り遊び」	11:36	では、一休み みなさんもゲームをしましょう 2つのグループに分かれます 答えが分かったら、前の絵を矢印のところに貼るのです。 こうです（見本をみせる）答えを貼る前に、先生が「答えをどうぞ」のうちわをだします。そうしたら、貼ってね。 正解でしたら、「あたり」を出します。 どちらのチームもがんばれー 注) 最初は「非言語で」 スタート やったー全部合格さあて優勝はどっちかな 授業の最後にお知らせしまーす みんなよく頑張りました おつかれさま
10	『アリとスイカ』 『スイカでーす』 『リンゴでーす』 『ベーコン忘れちゃダメ』	11:46	それでは、またまた、食べ物の絵本です。 短いお話ばかりですが、よく見て聞いてね。 すごいなー びっくりした かわいい たべたい等おもいましたか？
5	「紙芝居」 『森の暴れん坊クワガタ君』	11:56	みなさんがとても頑張ってくれたので、おまけにもうひとつ、紙芝居をプレゼントします。 もうすぐ夏休みですね。白丹の山や畑にはきつという昆虫のお話です。
4	自己評価表 表彰式	12:01	今日は最後までホントによく頑張ってくれました。みなさんの今の気持ちをお話して下さい。 では、〇〇さんから順番にどうぞ。 先生にとっては、とてもうれしい意見でした。 では、しり取りゲームの表彰式を行います。 名前を呼ばれたら、大きな声で返事してね。 一年生はすばらしいお友達ばかりですね。 先生はとても幸せな時間でした。ありがとう

一年生の図書室・読書の活動状況（授業にあたっての参考資料）

8日～26日間の読書月間中の調査から

児童名	読書冊数	主な書名
K. R	9	まんぷくです・怪談シリーズ・
K. H	10	恐竜シリーズ・言葉絵本
S. K	23	ろくべーまってるよ・まめうしとまめばあ
S. N	19	がっこうクイズ2年生・バムとケロのおかいもの
N. R	21	地球、宇宙・トマトの秘密・ルルとララのチョコレート
F. Y	12	崖の上のポニョ・とんとんどんどん
M. K	17	あかちゃんてね・くれよんいろのくろちゃん
H. S	14	ふしぎなナイフ・ドラえもんのなぞの生き物大探検

その他（一年生に関する現状と今後の取り組み）

図書室利用状況

- ・司書勤務日は、担任のすすめで図書室への利用度は多い。
- ・読書の時間は、かならず図書室を活用している。

図書室でのマナー

- ・学級担任の細かい指導により、活動の後は椅子をきちんと入れるなど、マナーは大変によい。
- ・友達が必要な、棚の上の本を取ってあげたり協力し合う姿が見られる。

一年生の読書月間中の冊数

- ・学級全体 125 冊
- ・一人平均 15.6 冊

一年生への担当としてのアドバイス事項

- ・ロングセラーとなっている絵本の紹介
- ・一年生として、学習に活用されると考えられる知識本の紹介
- ・絵による訴えや内容が豊かな本の紹介

担当として努力すべき事項

- ・図書室が活用しやすいように、整理と整備に心掛けたい。
- ・図書室の訪問者へのあいさつと気軽な声かけに努めたい。
- ・学級担任と児童の活用向上につながる情報の共有化を図りたい。
- ・紙芝居や大型絵本など、これからも竹田市立図書館等の利用を続けたい。

当日主役を演じた子どもたち



おわりに

学校の司書補として7年間、一週間丸々一校勤務出来た年もあれば、4校、そして、今年のように3校と複数校勤務を命ぜられた年もあります。様々な学校で児童、生徒、保護者、そして、教職員の方々とコミュニケーションをはかることに気を遣うことは毎年のことです。特に、四月当初は職員室に自分の机はあるのか、校務分掌に名前はあるのか、図書室の整備は、そして、自分に関係の深い図書担当の先生はどんな方だろう等々、わずか数時間で、私のその年の運命？は決まると言っては過言かもしれませんが、私は、辛い出発の時にはポジティブに考え、わがままな自分にこのように言い聞かせています。「別府大学での受講で司書補の資格を取得し今の仕事をさせていただいているんだよ」と。

今回、初めての投稿依頼をいただき、責任と緊張、そして少しだけ力みを感じていました。そんな6月の吉日のこと、教頭先生から学校訪問の日に、「担任の先生のピンチヒッターをやってみませんか」「内容は読み聞かせの延長でいいから」と言われ、そのような日の行事にかかわったことのない私は「ありがとうございます」と事の重大さを考えずに承諾したのが出発でありました。

学校司書として、どこまでやればよいのか。先生方のような立場ではないし、はたして代打としてゲームに参加出来るのか。様々な悩みを抱え込むことになりました。そんな時教頭先生から「当日はどんな目標でどんな内容をしますか」と優しい口調で言われましたが何のことやらキョトンとしている私であったその時間を今も克明に覚えています。私は瞬時にプラス思考にこのように考えました。私は教頭先生から「一職員としてカウントされているのだ」と。「私は幸せ者だ」と。

戦いは容赦なく始まっていました。わずか一時間を消化するために、どんなに多くの皆さんに迷惑を掛けたことか始めは気が付きませんでした。たくさんの方々に相談する度に、授業の素人に丁寧な言葉でヒントを与えて下さったり、授業の目的まで詳しく話していただいた方、そして、色々な方法（展開）をファクスして下さった方々、毎日毎日、地球のみんなが味方となって助けて下さっていると錯覚する日々から覚醒することを忘れるほどでした。こんな経験をさせていただき、改めて毎日普通に授業をされている先生方の凄さに尊敬と感動を身を持って体験することも出来ました。

私との一時間に「うれしそうな顔で答えてくれたF, YさんS, Kさん」そして、私を支えてくれた「N, Rさんを中心に生き生きと活動してくれたみなさん」本当にありがとう。

今回のチャンスを下さった管理職の先生から、私に勇気を振り絞ってかわいい子どもたちを預けて下さった担任の先生はじめ、本校の全職員の皆様に、再度「本校の一員にカウントして下さり有り難う御座いました」と感謝申し上げます。

私事ですが、9月に長い年月を掛けて司書の単位を取得することが出来ました。今年のこれまでの自分に「良く頑張ったね」と誉めてあげました。「誉められると伸びる」単純な私。これからも「職場の一員としてカウントされる」ことと、「自分で自分を誉められる」ことを自己評価のベスト・スタンダードに、この寄稿を新たなスタートとし前進して参りたいと思います。

(おおくら・ちづこ 竹田市立白丹小学校)